学校番号	107

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新倫理　（清水書院）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集　（株式会社　第一学習社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人間や自分の在り方生き方について主体的に考えるための基礎的な知識と考え方を身につけ、先哲の思想を学び自分の在り方生き方を考える力を養います。
・現代社会の思想的課題について考察し、判断する力を身に着けていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】人間としての在り方生き方についての見方・考え方を養う。
【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を行う。
【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に 主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代 の諸課題を捉え、より深く思索するための手 掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に 関わる情報を調べまとめることができる。	・自立した人間として、他者と共によりよく 生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 ・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理 に関する概念や理論などを活用して、理論的 に思考し、説明したり対話したりすることができる。	・人間としての在り方生き方に関わる事象や 課題について主体的に追究し、他者と共 によりよく生きる自己を形成しようとしている。 ・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。前期：後期＝３：２の配分で評価			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編 現代を生きる自己の課題	心の機能と個性 パーソナリティの形成と「私」 人間の活動を支える心 認知のしくみ 生涯にわたる発達	a: パーソナリティに関するさまざまな理論を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。 b: 意欲、動機づけ、知覚、学習、記憶、問題解決、推論、道徳的判断、発達などに関する心理学的な知見から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 c: さまざまな心の在り方に関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・プリント	ワークシート・振り返りプリント
	第2編 人間としての自覚	哲学の始源:ギリシア思想 唯一神の宗教:キリスト教・イスラーム教 東洋思想の源流:仏教・儒教	a: 古代ギリシアの先哲が論じた人間観や人生観を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 b: 古代ギリシアの思想の知見を用いて、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 c: 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・課題ワーク、	ワークシート・振り返りプリント

	第3編　現代をかたちづくる倫理	世界と人間をめぐる探究 真理の認識－経験論と合理論 社会契約論 ドイツ観念論、功利主義、 社会主義、実存主義 構造主義、ポスト構造主義 近代の世界観・人間観の問いなおし	a：ルネサンスや宗教改革、モラリストの思想家らの人間観に関する基本的な知識を身に付けている。ルネサンス期の絵画や造形作品を通して、近代の人間像を読み取ることができる。『エセー』・『パンセ』などの原典資料から、人生の意味や価値を適切に読み取ることができる。 b：ルネサンスや宗教改革、モラリストの思想家らの様々な人間の見方や人生の捉え方を通して、人間としての在り方生き方について思索を深め、適切に表現できる。 c：人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について、自己の人生観や人間観と結び付けて主体的に追究しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・ 課題 ワーク	ワークシート・ 振り返り プリント
	第4編　国際社会に生きる日本人としての自覚	日本人の人間観・自然観・宗教観 日本人の仏教受容 近世社会の思想 西洋近代精神の摂取 近代的個人の自覚 主体的な生き方と価値観の模索	a：原始神道に見られる人間と自然との関わりについての意識、日本人の死生観、善悪についての道徳観、自然への感じ方を、原典資料や芸術作品を通して、適切に読み取り、理解することができる。 b：古代の日本人の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 c：日本人としての在り方生き方についての根源的な問いを探究することで、国際社会に生きる日本人として主体的に生きていくために必要な能力を身に付けようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・プリント	ワークシート・ 振り返り プリント

	第5編　現代における諸課題の探究	自然や科学技術をめぐる諸課題 社会や文化にかかわる諸課題	a: 自然や科学技術との関わりにおける倫理的課題に対して、その解決に向けて、これまでの学習を通して身に付けた倫理に関する概念や理論を適切に活用できる。 b: 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについての倫理的課題を見いだし、生きることの意義、自然との調和的な共存関係、先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方に着目して、多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述できる。 c: 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについての倫理的課題の探究を通して、多様な他者との対話を通して、人格の完成に向けて自己の生き方を確立しようとしている。	プリント・小テスト	小テスト・プリント	ワークシート・振り返りプリント
			a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度